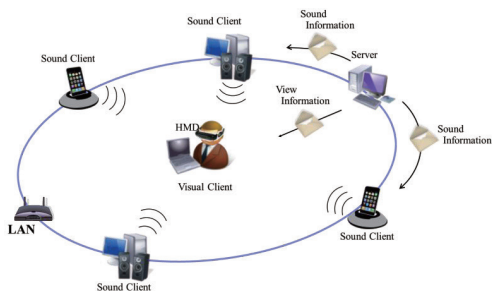


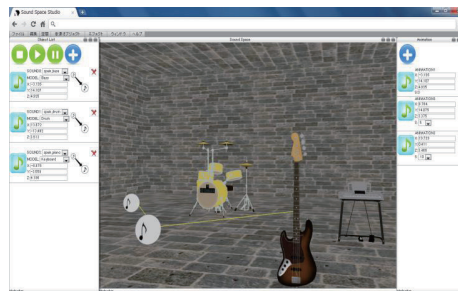
複数のスマートデバイスを利用した視聴覚ディスプレイとWebシステムによるコンテンツデザイン

これまで、高臨場感を提供する視聴覚ディスプレイは高価なものが多く、またシステムの規模が大きくなる傾向があり、導入コストが高くなることがほとんどであった。またそのようなシステムのコンテンツ作成には、高度な知識や特殊なデバイスを必要とすることが多く、コンテンツがあまり作成されないという問題があった。

本研究では高い臨場感を安く提供するということを目指し、現在広く普及しているiPhoneのようなスマートデバイスを複数台用いることで、視聴覚的に統合された3次元空間を提示するディスプレイを開発した。また、そのディスプレイ上で楽しめるコンテンツをWebブラウザ上で簡単にデザイン・共有できるシステムの開発を行った。



複数台のスマートデバイスによる視聴覚ディスプレイ：各デバイスは無線LANで接続されリアルタイムに制御される



高臨場感聴覚コンテンツのためのデザインシステム：音源を仮想空間に配置することで音空間をデザインする

これまで当研究室では、高い臨場感を提供する安価なディスプレイを開発してきました。今後は、これらのシステムを活かしたアプリケーション作りを考えています。例えば、里山や里海の心に響く風景を高い臨場感で多くのユーザに伝えることで、それらが保全されるようなきっかけを生み出すアプリケーションを考えています。



山本 知仁 教授・博士(工学)

工学部 情報工学科

所属研究所：感動デザイン工学研究所、情報技術研究所
東京工業大学工学部電気・電子工学科卒。東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程(知能システム科学専攻)修了。2004年本学講師就任。2011年准教授を経て、2016年教授。

研究者情報URL

<http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RAEABJ.html>

Keyword

コミュニケーション/ヒューマンインタフェース